

DRUG



INFORMATION

2015 No. 16

平成27年6月10日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1

(平成27年6月4日 薬事委員会結果報告)

- ①院内新規試用医薬品
- ②院内採用中止医薬品
- ③規格変更医薬品
- ④製剤変更医薬品
- ⑤販売中止医薬品
- ⑥新規採用ワクチン
- ⑦院外新規採用医薬品
- ⑧院外採用中止医薬品

2. 新規採用医薬品情報 5

- 【院内新規試用医薬品】
- 【規格変更医薬品】
- 【製剤変更医薬品】
- 【新規採用ワクチン】
- 【院外新規採用医薬品】

3. 同一成分で複数銘柄が採用されている
院外採用医薬品の中止について 10

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

医薬品の採用・中止・変更について —平成 27 年 6 月 4 日薬事委員会結果報告—

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ザファテック錠 100mg(トレラグリプチン)	持続性選択的 DPP-4 阻害剤
タケキャブ錠 20mg(ボノプラザン)	酸関連疾患治療剤/P-CAB
クレナフィン爪外用液 10%(エフィナコナゾール)	爪白癬治療剤
ドキシル注 20mg(ドキシソルビシン塩酸塩)	抗悪性腫瘍剤
パージェタ点滴静注 420mg/14mL(ペルツズマブ)	抗悪性腫瘍剤
ミダフレッサ静注 0.1%(ミダゾラム)	抗けいれん剤

⇒ 平成 27 年 6 月 16 日より処方開始の予定です。

②院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ジゴシン散 0.1%(ジゴキシン)	強心剤(ジギタリス製剤)
沈降炭酸カルシウム「ケンエー」	消化性潰瘍治療剤(酸中和剤)
リンデロン-DP 軟膏 0.064%(ベタメタゾンジプロピオン酸エステル)	副腎皮質ホルモン剤(作用がかなり強力)
アラセナ-A 点滴静注用 300mg(ビダラビン)	ヘルペスウイルス感染症治療剤
シスプラチン点滴静注 25mg「マルコ」	抗悪性腫瘍剤
強力ネオミノファーゲンシー静注シリンジ 40mL(配合剤)	アレルギー治療剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

③規格変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	(内):院内採用医薬品 (外):院外専用医薬品	薬品分類
エルカルチン錠 100mg ^(内) ⇒ エルカルチン FF 錠 100mg ^(外)		カルニチン欠乏症治療剤
エルカルチン錠 300mg ^(外) ⇒ エルカルチン FF 錠 250mg ^(内)		カルニチン欠乏症治療剤
パロジェクトゾル 100(600mL) ⇒ パロジェクトゾル 100(300mL)		注腸用X線造影剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

④製剤変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	(販止):販売中止に伴う変更	薬品分類
インデラル錠 10mg ⇒ プロプラノロール塩酸塩錠 10mg「日医工」		β 遮断剤
オピスタン注射液 35mg ⇒ ペチジン塩酸塩注射液 35mg「タケダ」	(販止)	鎮痛・鎮痙用麻薬
リカバリン注 250mg ⇒ トランサミン注 5%	(販止)	止血剤
リカバリン注 1000mg ⇒ トランサミン注 10%	(販止)	止血剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

⑤販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外):院外専用医薬品	薬品分類
プロパデルム軟膏 0.025% (ベクロメタゾンプロピオン酸エステル)		副腎皮質ホルモン剤(作用が強力)
プロパデルムクリーム 0.025% (ベクロメタゾンプロピオン酸エステル) ^(外)		副腎皮質ホルモン剤(作用が強力)

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、中止とします。

⑥新規採用ワクチン

医薬品名(成分名)
メナクトラ筋注(4価髄膜炎菌ワクチン(ジフテリアトキソイド結合体))

⑦院外新規採用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ジェイゾロフト OD錠 25mg(塩酸セルトラリン)	選択的セロトニン再取り込み阻害剤
ジェイゾロフト OD錠 50mg(塩酸セルトラリン)	選択的セロトニン再取り込み阻害剤
ジプレキサザイデイス錠 10mg(オランザピン)	抗精神病薬・双極性障害治療薬
ルティナス錠 100mg(プロゲステロン)	黄体ホルモン剤
ビデュリオン皮下注用 2mg ペン(ヘキサチド)	GLP-1受容体作動薬/2型糖尿病治療剤

⇒ 平成27年6月16日より処方開始の予定です。

ジェイゾロフト錠については、処方箋の薬品名を「～OD錠(錠変更可)」と記載し、調剤時に患者の希望により錠剤へ変更できるように致します。

⑧院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
【新規採用医薬品に伴う中止医薬品】	
ジェイゾロフト錠 25mg(塩酸セルトラリン)	選択的セロトニン再取り込み阻害剤
ジェイゾロフト錠 50mg(塩酸セルトラリン)	選択的セロトニン再取り込み阻害剤
テシプール錠 1mg(セチプチリンマレイン酸塩)	抗うつ剤
ビデュリオン皮下注用 2mg(ヘキサチド)	GLP-1受容体作動薬/2型糖尿病治療剤

③院外採用中止医薬品(続き)

医薬品名(成分名)	薬品分類
【3年以上処方のない医薬品】	
オラセフ錠 250mg(セフロキシムアキシセチル)	セフェム系抗生物質製剤
クリアミン配合錠 S0.5(エルゴタミン酒石酸塩、他)	片頭痛治療剤
カレトラ配合内用液(リトナビル、他)	HIV 感染症治療剤(プロテアーゼ阻害)
セフspanカプセル 100mg(セフィキシム水和異物)	セフェム系抗生物質製剤
ゼリットカプセル 15mg(サニルブジン)	HIV 感染症治療剤(核酸系逆転写酵素阻害)
ゼリットカプセル 20mg(サニルブジン)	HIV 感染症治療剤(核酸系逆転写酵素阻害)
ツムラ大承気湯エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
デタントール錠 0.5mg(ブナゾシン塩酸塩)	α 遮断剤
トリテレン・カプセル 50mg(トリアムテレン)	カリウム保持性利尿剤
バイシリン G 顆粒 40 万単位(ベンジルペニシリンベンザチン水和物)	ペニシリン系抗生物質製剤
パシーフカプセル 30mg(モルヒネ塩酸塩水和物)	アヘンアルカロイド系麻薬
パシーフカプセル 60mg(モルヒネ塩酸塩水和物)	アヘンアルカロイド系麻薬
パシーフカプセル 120mg(モルヒネ塩酸塩水和物)	アヘンアルカロイド系麻薬
ビラセプト錠 250mg(ネルフィナビルメシル酸塩)	HIV 感染症治療剤(プロテアーゼ阻害)
ビルトリシド錠 600mg(プラジカンテル)	駆虫駆除剤
ベスタチンカプセル 30mg(ウベニメクス)	非特異的抗癌剤
ペルジピン LA カプセル 20mg(ニカルジピン塩酸塩)	カルシウム拮抗剤(ジヒドロピリジン系)
ミニプレス錠 1mg(プラゾシン塩酸塩)	α 遮断剤
ロイシン・イソロイシン・バリン除去ミルク配合散「雪印」	メープルシロップ尿症治療剤
イドメシンコーワゾル 1%(インドメタシン)	外用非ステロイド性消炎・鎮痛剤
パデルクリーム 0.1%(ヒドロコルチゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル)	外用副腎皮質ホルモン剤(作用がかなり強力)
ジェノトロピン TC 注用 5.3mg(ソマトロピン)	成長ホルモン製剤
ダイアニールーN PD-2 2.5 腹膜透析液 2L	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-2 2.5 腹膜透析液 5L	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 1.5 腹膜透析液 1.5L[排液用バッグ付]	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 1.5 腹膜透析液 2L	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 1.5 腹膜透析液 2L[排液用バッグ付]	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 1.5 腹膜透析液 5L	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 2.5 腹膜透析液 2L[排液用バッグ付]	腹膜透析液
ダイアニールーN PD-4 2.5 腹膜透析液 5L	腹膜透析液
静注用フローラン 0.5mg(エポプロステノールナトリウム)	肺動脈性肺高血圧症治療剤
静注用フローラン 0.5mg(溶解液付)(エポプロステノールナトリウム)	肺動脈性肺高血圧症治療剤
静注用フローラン 1.5mg(溶解液付)(エポプロステノールナトリウム)	肺動脈性肺高血圧症治療剤

③院外採用中止医薬品(続き)

医薬品名

【生薬製剤】

ウチダのウコン M	ウチダのショウバク M	ツムラの生薬キクカ	ツムラの生薬タイソウ
ウチダの烏頭	ウチダのチャヨウ M	ツムラの生薬コウカ	ツムラの生薬チモ
ウチダのカシュウ M	ウチダのブクリョウ末 M	ツムラの生薬ゴシツ	ツムラの生薬トウニン
ウチダのケイヒ末 M	ウチダのボウイ M	ツムラの生薬シツリシ	ツムラの生薬ニンジン
ウチダのゴミシ M	ウチダのリュウコツ M	ツムラの生薬シンイ	ツムラの生薬レンギョウ
ウチダのサイシン M	ウチダのレンニク M	ツムラの生薬セッコウ	
ウチダのシツリシ M		ツムラの生薬ダイオウ	

⇒ 在庫がなくなり次第、中止とします。

【院内新規試用医薬品】

(トレラグリプチンコハク酸塩)

▶ザファテック錠 100mg

Zafatek 100mg/錠 [武田]

[薬価]1,045.1 円/錠

【効】2 型糖尿病

【用】(内) 100mg を 1 週間に 1 回投与する。

(ボノプラザンフマル酸塩)

▶タケキャブ錠 20mg

Takecab 20mg/錠 [武田]

[薬価]240.2 円/錠

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍 ②逆流性食道炎
③低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は
十二指腸潰瘍の再発抑制 ④非ステロイド性抗
炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍
の再発抑制 ⑤下記におけるヘリコバクター・
ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、
胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、
早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバ
クター・ピロリ感染胃炎

【用】(内) ①1 回 20mg を 1 日 1 回投与する。胃
潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間
までの投与とする。②1 回 20mg を 1 日 1 回投与
する。4 週間までの投与とし、効果不十分の場合
は 8 週間まで投与することができる。再発・再
燃を繰り返す場合の維持療法においては、1 回
10mg を 1 日 1 回投与するが、効果不十分の場合
は、1 回 20mg を 1 日 1 回投与することができる。
③1 回 10mg を 1 日 1 回投与する。④1 回 10mg
を 1 日 1 回投与する。⑤ボノプラザン 1 回 20mg、
アモキシシリン水和物 1 回 750mg 及びクラリス
ロマイシン 1 回 200mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、
7 日間投与する。クラリスロマイシンは、1 回
400mg 1 日 2 回を上限とする。《プロトンポンプ
インヒビター、アモキシシリン水和物及びクラ
リスロマイシンの 3 剤投与によるヘリコバクタ
ー・ピロリの除菌治療が不成功の場合》ボノブ
ラザン 1 回 20mg、アモキシシリン水和物 1 回
750mg 及びメトロニダゾール 1 回 250mg の 3 剤
を同時に 1 日 2 回、7 日間投与する。

(エフィナコナゾール)

▶クレナフィン爪外用液 10%

Clenafin 3.56g/本 [科研]

[薬価]1,657.5 円/g

[貯法]遮光

【効】爪白癬

【用】(外) 1 日 1 回罹患爪全体に塗布する。

(ドキシソルビシン塩酸塩)

▶ドキシル注 20mg

劇

Doxil 20mg/10mL/V [ヤンセン]

[薬価]99,301 円/瓶

[貯法]2~8℃、禁凍結

【効】①がん化学療法後に増悪した卵巣癌 ②エ
イズ関連カポジ肉腫

【用】(注) ①1 日 1 回 50mg/m² を 1mg/分の速度で
静注し、その後 4 週間休薬する。これを 1 コー
スとして投与を繰り返す。②20mg/m² を 1mg/分
の速度で静注する。これを 1 コースとして 2~3
週毎に投与する。

(ペルツズマブ(遺伝子組換え))

▶パージェタ点滴静注 420mg/14mL

劇

Perjeta 420mg/14mL/V [中外]

[薬価]238,491 円/瓶

[貯法]遮光、2~8℃

【効】HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌

【用】(注) 《トラスツズマブと他の抗悪性腫瘍剤
との併用》1 日 1 回、初回投与時には 840mg を、
2 回目以降は 420mg を 60 分かけて 3 週間間隔で
点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれ
ば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮で
きる。

(ミダゾラム)

▶ミダフレッサ静注 0.1% (向)

Midafresa 10mg/10mL/V [アルフレッサ]

[薬価]3,340 円/V

[貯法]遮光

【効】てんかん重積状態

【用】(注) [静脈内投与] 修正在胎 45 週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、0.15mg/kg を静脈内投与する。投与速度は 1mg/分を目安とすること。必要に応じて 1 回につき 0.1~0.3mg/kg の範囲で追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として 0.6mg/kg を超えないこと。[持続静脈内投与] 修正在胎 45 週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、0.1mg/kg/時より持続静脈内投与を開始し、必要に応じて 0.05~0.1mg/kg/時ずつ増量する。最大投与量は 0.4mg/kg/時までとすること。

【規格変更医薬品】

(レボカルニチン)

▶エルカルチン FF 錠 100mg

L-Cartin FF 100mg/錠 [大塚]

[薬価]97.3 円/錠

[貯法]開封後は速やかに使用

【効】カルニチン欠乏症

【用】(内) 成人には、1 日 1.5~3g を 3 回に分割投与する。小児には、1 日 25~100mg/kg を 3 回に分割投与する。

(レボカルニチン)

▶エルカルチン FF 錠 250mg

L-Cartin FF 250mg/錠 [大塚]

[薬価]292 円/錠

[貯法]開封後は速やかに使用

【効】カルニチン欠乏症

【用】(内) 成人には、1 日 1.5~3g を 3 回に分割投与する。小児には、1 日 25~100mg/kg を 3 回に分割投与する。

(硫酸バリウム)

▶バロジェクトゾル 100 (後)

Baroject Sol 100% [堀井]

[薬価]1.56 円/mL

[貯法]禁凍結

【効】消化管(大腸)撮影

【用】(外) 検査部位及び検査方法に応じ、本剤をそのまま又は本剤の適量に適量の水を加えて適当な濃度とし、その適量を注腸する。[大腸] 注腸(20~100%) 200~2,000mL

【製剤変更医薬品】

(プロプラノロール塩酸塩)

▶プロプラノロール塩酸塩錠 10mg「日医工」㊞
㊟

Propranolol Hydrochloride 10mg/錠 [日医工]

〔薬価〕6.3 円/錠

〔貯法〕遮光

【効】①本態性高血圧症(軽症～中等症) ②狭心症 ③褐色細胞腫手術時 ④期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動(徐脈効果)、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防 ⑤片頭痛発作の発症抑制 ⑥右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制

【用】(内) ①成人には1日30～60mgより投与をはじめ、効果不十分な場合は120mgまで漸増し、1日3回に分割投与する。②③成人には1日30mgより投与をはじめ、効果不十分な場合は60mg、90mgと漸増し、1日3回に分割投与する。④成人には1日30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mg、90mgと漸増し、1日3回に分割投与する。小児には1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分割投与する。効果不十分な場合には1日4mg/kgまで増量することができるが、1日投与量として90mgを超えないこと。⑤成人には1日20～30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mgまで漸増し、1日2回あるいは3回に分割投与する。⑥乳幼児には1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分割投与する。効果不十分な場合には1日4mg/kgまで増量することができる。

(ペチジン塩酸塩)

▶ペチジン塩酸塩注射液 35mg「タケダ」㊞
㊟

Pethidine Hydrochloride 35mg/1mL/A [武田]

〔薬価〕340 円/管

〔貯法〕遮光

【効】①激しい疼痛時における鎮痛・鎮静・鎮痙 ②麻酔前投薬 ③麻酔の補助 ④無痛分娩

【用】(注) ①1回35～50mgを皮下又は筋注する。必要に応じて3～4時間毎に追加する。特に急を要する場合には緩徐に静注する。②麻酔前30～90分に、50～100mgを皮下又は筋注する。③5%ブドウ糖注射液又は生理食塩液で10mg/mLに希釈し、10～15mgずつ間欠的に静注する。50mg

まで増量することもある。④子宮口二横指開大ないし全開時に、70～100mgを皮下又は筋注する。必要に応じて3～4時間毎に35～70mgずつ1～2回追加する。母体及び胎児の呼吸抑制を防ぐために、塩酸ペチジン100mgに対してレバルファン酒石酸塩1mgの投与比率で混合注射するとよい。

(トラネキサム酸)

▶トランサミン注 5%

Transamin 250mg/5mL/A [第一三共]

〔薬価〕64 円/管

▶トランサミン注 10%

Transamin 1,000mg/5mL/A

〔薬価〕128 円/管

【効】○全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向(白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血) ○局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血(肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血) ○下記疾患における紅斑・腫脹・癢痒等の症状：湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹 ○下記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状：扁桃炎、咽喉頭炎 ○口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター

【用】(注) 1日250～500mgを1～2回に分け静注又は筋注する。術中・術後等には必要に応じて1回500～1,000mgを静注するか、又は500～2,500mgを点滴静注する。

【新規採用ワクチン】

(4 価髄膜炎菌ワクチン(ジフテリアトキソイド結合体))

▶メナクトラ筋注 ㊦

Menactra (配合剤) 0.5mL/V [サノフィ]

1V 中:

髄膜炎菌(血清型A)多糖体ジフテリアトキソイド結合体
4 μ g

髄膜炎菌(血清型C)多糖体ジフテリアトキソイド結合体
4 μ g

髄膜炎菌(血清型Y)多糖体ジフテリアトキソイド結合体
4 μ g

髄膜炎菌(血清型W-135)多糖体ジフテリアトキソイド結合体
4 μ g

【貯法】禁凍結、2~8℃、遮光

【効】髄膜炎菌(血清型 A、C、Y 及び W-135)による侵襲性髄膜炎菌感染症の予防

【用】(注) 1回 0.5mL を筋注する。

【院外新規採用医薬品】

(セルトラリン塩酸塩)

▶ジェイゾロフト OD錠 25mg ㊦

Jzoloft 25mg/錠 [ファイザー]

【薬価】101.3 円/錠

▶ジェイゾロフト OD錠 50mg ㊦

Jzoloft 50mg/錠

【薬価】175.9 円/錠

【効】うつ病・うつ状態、パニック障害、外傷後ストレス障害

【用】(内) 1日 25mg を初期用量とし、1日 100mg まで漸増し、1日 1回投与する。1日 100mg を超えない範囲とする。

(オランザピン)

▶ジプレキサザイデイス錠 10mg ㊦

Zyprexa 10mg/錠 [日本イーライリリー]

【薬価】489.9 円/錠

【効】①統合失調症 ②双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善

【用】(内) ①5~10mg を1日1回投与により開始する。維持量として1日1回 10mg 投与する。1日 20mg を超えないこと。②<躁症状の改善> 10mg を1日1回投与により開始する。1日 20mg を超えないこと。<うつ症状の改善> 5mg を1日1回投与により開始し、その後1日1回 10mg に増量する。いずれも就寝前に投与することとし、1日 20mg を超えないこと。

(プロゲステロン)

▶ルティナス錠 100mg

Lutinus 100mg/錠 [フェリング]

【効】生殖補助医療における黄体補充

【用】(外) プロゲステロンとして1回 100mg を1日2回又は3回、採卵日(又はホルモン補充周期下での凍結胚移植ではエストロゲン投与により子宮内膜が十分な厚さになった時点)から最長10週間(又は妊娠12週まで)腔内に投与する。

(エキセナチド)

▶ビデュリオン皮下注用 2mg ペン (調)

Bydureon 2mg/キット [アストラゼネカ]

〔薬価〕3,586 円/キット

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】2 型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ビグアナイド系薬剤及びチアゾリジン系薬剤(各薬剤単独療法又は併用療法を含む)による治療で十分な効果が得られない場合に限る。)

【用】(注) 2mg を週に 1 回、皮下注する。

同一成分で複数銘柄が採用されている院外採用医薬品の中止について

同一成分で複数銘柄が採用されている院外処方医薬品の見直しが行われ、以下の 10 品目（一覧の左列の品目）については過去 1 年間の使用実績等を考慮して中止することとなりました。つきましては、中止医薬品については在庫がなくなり次第、オーダー中止と致します。中止後は DO 処方が出来なくなりますので、用量等にも注意したうえで、切替薬品に変更して再度処方を入力して下さい。

中止医薬品名(成分名)	切替薬品	薬品分類
ゾピラックス顆粒 40%(アシクロビル)	⇒ アストリックドライシロップ 80%	抗ウイルス剤
クラシエ加味逍遙散料エキス細粒 3g(配合剤)	⇒ ツムラ加味逍遙散エキス顆粒 2.5g	漢方製剤
クラシエ桂枝茯苓丸料エキス細粒 3g(配合剤)	⇒ ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒 2.5g	漢方製剤
クラシエ小青竜湯エキス細粒 2g(配合剤)	⇒ ツムラ小青竜湯エキス顆粒 3g	漢方製剤
クラシエ人参養栄湯エキス細粒 2.5g(配合剤)	⇒ ツムラ人参養栄湯エキス顆粒 3g	漢方製剤
クラシエ六味丸料エキス細粒 3g(配合剤)	⇒ ツムラ六味丸エキス顆粒 2.5g	漢方製剤
アフタゾロン口腔用軟膏 0.1%(デキサメタゾン)	⇒ デキサルチン口腔用軟膏 1mg/g	口内炎治療剤
コンベック軟膏 5%(ウフェナマート)	⇒ フェナゾール軟膏 5%	非ステロイド系消炎剤
フルナーゼ点鼻液 50 μ g 28 噴霧用 (フルチカゾンプロピオン酸エステル)	⇒ スカイロン点鼻液 50 μ g 28 噴霧用	鼻炎治療剤
ヨードコート軟膏 0.9% 50g(ヨウ素)	⇒ カデックス軟膏 0.9% 40g	褥瘡治療剤

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。